

子規記念博物館 イベント情報 ☎931-5566 FAX934-3416

第62回特別企画展「子規の夏休み」8月6日(土)スタート

【日時】8月6日(土)～9月5日(月) (開館時間は9～18時〈入場は17時30分まで〉)

【会場】子規記念博物館(道後公園) 3階特別展示室

【内容】松山帰省中の子規が親族と撮影した写真、友人への手紙、当時の鉄道を描いた錦絵や時刻表など、子規の夏休みに関連する資料を展示

【料金】個人400円▶団体320円▶65歳以上200円▶小中高校生 無料



子規と親族 (明治24年7月16日、道後に撮影)

宇多喜代子・黒田杏子の道後俳句塾2016

【日時】9月17日(土)13～17時、18日(日)10～16時

【会場】子規記念博物館(道後公園) および道後界限

【内容】17日「俳句塾」=愛媛大学教育学部准教授・青木亮人さんによる講話の後、草樹会員代表・宇多喜代子さん、藍生主宰・黒田杏子さんが参加者の事前投句をもとに選評や指導(海程主宰・金子兜太さんが事前投句選者を務めます)▶18日「吟行会」=宇多喜代子さん、黒田杏子さん、海程愛媛支部長・相原左義長さん、いつき組組長・夏井いつきさんとの吟行、選評会

【定員】各日70人

【料金】17日=4,000円▶18日=3,000円(高校生以下1,000円)

【申し込み】8月28日(日)(必着)までに、直接または郵送、ファクス、eメールで参加希望イベント(俳句塾または吟行会)、住所、氏名・俳号(いずれもふりがな)、所属、年齢、電話番号を書いて〒790-0857道後公園1-30子規記念博物館「宇多喜代子・黒田杏子の道後俳句塾」係へ



宇多喜代子さん 黒田杏子さん 金子兜太さん

まつやま子規亭2016 第一夜スタート。チケット販売中



林家正蔵師匠

※子規記念博物館1階で販売
 11万2000円▶単夜券 113500円
 【日時】7月30日(土)▶開演18時30分(予定)▶開演18時30分
 【会場】子規記念博物館(道後公園) 4階講堂
 【内容】「寄席を楽しむ」をテーマに、前座から始まり、「色物」として曲独楽師・三増紋之助師匠による独楽芸、「真打」で落語家・林家正蔵師匠による落語
 【定員】5500人
 【チケット】通し券(第1夜から第4夜+特別講演) 11万2000円▶単夜券 113500円

(再募集) 美しい街並みと賑わい創出事業補助金

【対象事業】市の定める計画対象区域内の歴史的建造物の保全・改修、ファサード(道路に面した壁面)、にぎわい創出施設、回遊性を高める施設の整備など
 ※補助額=補助対象経費の3分の2または設定上限額のいずれか低い額

【対象者】まちづくりを行う団体・個人など

【申し込み】9月30日(金)(必着)。直接または郵送で、事業計画書など(都市デザイン課(市役所本館7階)または市ホームページにあり)を〒790-8571都市デザイン課へ

※予算には限りがありますので、早めにお申し込みください



補助金を活用して整備した港山城跡

第10回まつやま 景観賞募集期限迫る

【内容】「建築」「屋外広告物」「まちなみ・まちづくり」部門

【申し込み】9月30日(金)(消印有効)。詳細は市ホームページを確認



第9回きらめき大賞 森の回廊 - Loop - 大谷歯科矯正歯科

☎都市デザイン課 ☎948-6466 FAX934-1807

平成29年度市立幼稚園入園児募集

【対象】平成23年4月2日～平成26年4月1日に出生の市内在住の園児

【定員】右表のとおり(希望者が定員を上回る場合は抽選。抽選に漏れた人には補欠番号を交付。欠員時、番号順に入園可)

【料金】所得に応じて月額上限1万3,000円。給食代などは別途実費徴収

【申し込み】9月1日(木)～8日(土)の日曜日を除く15時～17時15分まで。直接、願書(各幼稚園にあり)を希望の幼稚園へ

☎保育・幼稚園課 ☎948-6872 FAX934-1021

幼稚園	募集人員		
	3歳	4歳	5歳
三津浜 ☎951-0831	48人	44人程度	30人程度
五明 ☎977-1630	16人	23人程度	
石井 ☎956-0089	48人	21人程度	14人程度
荏原 ☎963-1103	32人	17人程度	7人程度
坂本 ☎963-1154	16人	19人程度	

坂の上の雲ミュージアム

「大学から見た世界あれこれ」大学連携市民講座

【日時・内容】下表のとおり。いずれも10時30分～12時(全4回)

【会場】坂の上の雲ミュージアム3階会議室

【対象・定員】高校生以上。40人(先着順)

【料金】1,200円

【申し込み・問い合わせ】7月31日

(日)(必着)。電話・はがき・ファクス・eメール。住所、氏名、電話番号を〒790-0001一番町三丁目20坂の上の雲ミュージアム事務所 ☎915-2601 FAX915-3600 sakamuseum@city.matsuyama.ehime.jpへ

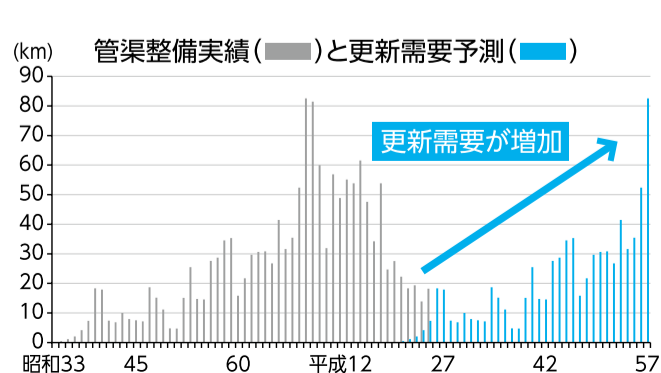
日時	演題	講師(敬称略)
8/6(土)	途上国の生活に見るわが国の過去	愛媛大学名誉教授 末田 達彦
8/20(土)	アフリカ南端で美味しいワインが造られるのは何故?	愛媛大学社会共創学部(愛媛大学地域創成研究センター) 教授 寺谷 亮司
9/3(土)	ノン・アレルギー食品であるサゴでんぷんーインドネシアと日本での利用の違いー	インドネシア・ハサヌディン大学農学部講師(愛媛大学大学院連合農学研究所博士3年) デイヤ・ユメイナ
9/18(日)	気候変動と国際社会	愛媛大学社会共創学部講師 イ・ヒョンヨン

将来の安定した下水道事業に向けて

下水道事業経営審議会に諮問

下水道事業の経営を調査・審議する下水道事業経営審議会を6月7日に開催し、「持続可能な下水道事業経営」について諮問しました。本市の下水道事業は平成20年度に企業会計を導入して以来、経営改善に努めてきたものの、多額の借入金や欠損金を抱え厳しい経営状況にあります。こうした課題に対応するため審議会では、投資と財源のバランスを考えた「経営戦略」の方向性と人口減少社会を見据えた下水道使用料のあり方を検討し、市長に答申する予定です。

【施設更新への対応】下水道施設の約8割を占める管渠は昭和33年から布設し、総延長は平成27年度末で約1500キロメートルに達しています。耐用年数は約50年で、今後効率的に更新しなければなりません。そこで管渠をはじめ下水道施設をデータベース化し、長寿命化対策などを講じながら、一年度に工事が集中しないよう更新需要の平準化が求められています。



【人材育成の充実と確実な技術】下水道政策課 ☎948-6554 FAX934-5862

【継承】職員の有する技術継承に組織的・計画的に取り組み、経営感覚を持つ人材を育成します。